学校番号	2003

令和８年度　数学

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	改訂版　高等学校　数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ(数研出版) クリアー 数学Ｃ(数研出版) 練習ドリル 数学Ｃ（標準編）(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２クラスを３教室に分けて、少人数での授業展開を行ないます。授業前後の予習・復習がより大切になります。問題集（クリアー）を週末課題として課します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】ベクトルについて、概念を理解し、基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】ベクトルについて、数学的な思考力・判断力・表現力を身につけることをめざす。
【学びに向かう力、人間性等】ベクトルについて、事象を数学的に考察し、多面的に捉える能力、習得した知識、習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルにおけるにおける基本的な概念､原理･法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。ベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけている。	ベクトルの考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	平面上のベクトル	ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 三角形の面積	a:ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できる。 b:座標平面上の点とベクトルの成分について理解する。 内積の性質(計算法則)を理解し、計算に利用できる。 c:様々な数学的事象とベクトルを結びつけて考察し理解を深め、それを表現することができる。	定期考査	定期考査	週末課題 小テスト ワークシート
	平面上のベクトル	位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示 点と直線の距離	a: 線分の長さや垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 b: 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 位置ベクトルを用いて線分の内分点、外分点、三角形の重心を表すことができる。 c:ベクトルを数式および、図形的に発展させ、数学の他の分野と連動させて理解することができる。	定期考査	定期考査	週末課題 小テスト ワークシート
	空間のベクトル	空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形 平面の方程式	a: 空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用できる。 b: 空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 直線のベクトル方程式を理解し、媒介変数処理ができる。 c:空間ベクトルを通してベクトル全体の理解を深め、問題解決に活用することができる。	定期考査	定期考査	週末課題 小テスト ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度